

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	4,929	11.7	68	17.4	79	△2.8	48	1.4
2022年6月期第3四半期	4,412	9.9	58	—	81	398.1	47	—

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 49百万円(△3.1%) 2022年6月期第3四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	11.88	—
2022年6月期第3四半期	11.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,591	504	19.5
2022年6月期	2,435	522	20.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 504百万円 2022年6月期 488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	8.53	8.53
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	11.11	11.11

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,150	5.0	110	6.1	110	△14.4	90	4.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年6月期3Q	5,076,000株	2022年6月期	5,076,000株
2023年6月期3Q	1,026,552株	2022年6月期	1,026,552株
2023年6月期3Q	4,049,448株	2022年6月期3Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年7月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染対策による経済活動の制限の緩和により、景気は緩やかに持ち直しの傾向がみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2年目を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、各事業ともに引き続きコロナ禍から総じて回復基調にあったことや生花卸売事業において販売単価が上昇したこと等から、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、4,929,151千円(前年同期比11.7%増)、営業利益は68,717千円(前年同期比17.5%増)、経常利益は79,220千円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は48,095千円(前年同期比1.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,641,581千円(前年同期比7.8%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2022年7月から2023年2月までの取扱件数、売上高ともにコロナ禍の影響を大きく受けた前年同期比では増加傾向で推移し、葬儀単価につきましてもやや持ち直し傾向で推移しました。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等の対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売を実施してまいりました。その結果、前述のとおり売上高は増加したものの営業利益は原材料費高騰等の影響を受け営業利益は228,882千円(前年同期比14.2%減)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、コロナ禍の影響等により販売数量は減少したものの販売単価が上昇し、売上高は1,685,645千円(前年同期比16.9%増)となりました。

東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2023年3月)によると、2022年7月から2023年3月までの切花累計の取扱金額は49,632百万円(前年同期比10.3%増)、数量では596百万本(前年同期比0.5%増)と金額ベースでは増加、数量ベースでは横ばいで推移し1本当たりの単価は上昇しました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせてコロナ禍の影響を最小化するための対応を実施しましたが原価率高騰の影響により、営業利益は37,462千円(前年同期比175.6%増)となりました。

#### (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による結婚式の延期等により厳しい状況が続いておりましたが、徐々にキャンセル件数が大幅に減少する等回復基調で推移したことから240,245千円(前年同期比17.0%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、昨今のコロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後徐々に回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深堀による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大に取り組ん

でまいりました。その結果、営業利益は1,399千円(前年同期は18,897千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、各事業ともにコロナ禍からの回復基調にあったことから総じて堅調に推移したことから、売上高は361,678千円(前年同期比15.1%増)となりました。利益面におきましては前述の売上の増加にともない、前期比では増益となったことにより営業損失は3,447千円(前年同期は20,218千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ156,828千円増加し、2,591,890千円となりました。これは主に、売掛金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ174,995千円増加し、2,087,163千円となりました。これは主に、買掛金、借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ18,167千円減少し、504,727千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月15日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	950,449	981,536
売掛金	510,736	642,453
商品	21,972	31,762
仕掛品	2,713	3,613
原材料及び貯蔵品	39,913	44,114
その他	52,865	62,146
貸倒引当金	△3,926	△3,880
流動資産合計	1,574,725	1,761,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	653,067	655,965
減価償却累計額	△309,616	△329,167
建物及び構築物(純額)	343,450	326,797
車両運搬具	23,968	20,853
減価償却累計額	△22,168	△19,389
車両運搬具(純額)	1,799	1,464
工具、器具及び備品	145,440	152,442
減価償却累計額	△135,626	△139,218
工具、器具及び備品(純額)	9,814	13,223
土地	221,424	221,424
その他	15,942	15,880
減価償却累計額	△11,555	△12,184
その他(純額)	4,386	3,696
有形固定資産合計	580,875	566,606
無形固定資産		
のれん	8,343	7,091
その他	1,523	772
無形固定資産合計	9,867	7,863
投資その他の資産		
差入保証金	52,141	52,698
保険積立金	188,538	189,700
破産更生債権等	8,708	15,284
その他	28,914	13,273
貸倒引当金	△8,708	△15,284
投資その他の資産合計	269,594	255,673
固定資産合計	860,337	830,143
資産合計	2,435,062	2,591,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,478	243,120
短期借入金	350,000	440,000
1年内返済予定の長期借入金	183,558	197,505
1年内償還予定の社債	7,400	20,000
未払金	70,371	67,356
未払法人税等	25,214	23,840
未払費用	126,008	89,795
賞与引当金	698	28,311
資産除去債務	10,000	10,000
その他	109,962	83,713
流動負債合計	1,050,692	1,203,643
固定負債		
社債	-	80,000
長期借入金	767,377	712,181
リース債務	953	293
退職給付に係る負債	75,948	73,772
資産除去債務	17,196	17,272
固定負債合計	861,475	883,519
負債合計	1,912,167	2,087,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	144,268
利益剰余金	362,285	375,839
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	488,948	504,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	14
その他の包括利益累計額合計	△4	14
非支配株主持分	33,951	-
純資産合計	522,894	504,727
負債純資産合計	2,435,062	2,591,890

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,412,704	4,929,151
売上原価	3,772,543	4,260,293
売上総利益	640,160	668,857
販売費及び一般管理費	581,651	600,140
営業利益	58,509	68,717
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	21
受取賃貸料	768	1,072
補助金収入	27,781	15,235
その他	7,667	5,700
営業外収益合計	36,241	22,030
営業外費用		
支払利息	7,600	6,935
為替差損	3,765	1,532
その他	1,910	3,058
営業外費用合計	13,276	11,527
経常利益	81,474	79,220
特別利益		
固定資産売却益	-	48
投資有価証券売却益	-	20
特別利益合計	-	68
特別損失		
固定資産除売却損	70	-
リース解約損	1,749	1,295
特別損失合計	1,819	1,295
税金等調整前四半期純利益	79,655	77,993
法人税、住民税及び事業税	29,899	31,182
法人税等還付税額	△1,170	△2,545
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	28,729	28,637
四半期純利益	50,926	49,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,477	1,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,448	48,095



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
四半期純利益	50,926	49,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	19
その他の包括利益合計	5	19
四半期包括利益	50,931	49,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,453	48,114
非支配株主に係る四半期包括利益	3,477	1,260

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日 至2022年3月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

## 1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月28日 定時株主総会	普通株式	34,541	8.53	2022年6月30日	2022年9月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,450,526	1,442,568	205,327	4,098,423	314,281	—	4,412,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,230	670,109	1,178	677,517	38,148	△715,666	—
計	2,456,757	2,112,677	206,505	4,775,940	352,430	△715,666	4,412,704
セグメント利益又は損 失(△)	266,592	13,591	△18,897	261,287	△20,218	△182,559	58,509

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△182,559千円には、セグメント間取引消去42,525千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△225,085千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,641,581	1,685,645	240,245	4,567,473	361,678	—	4,929,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,878	805,494	1,154	812,527	39,877	△852,405	—
計	2,647,459	2,491,140	241,400	5,380,000	401,556	△852,405	4,929,151
セグメント利益又は損 失(△)	228,882	37,462	1,399	267,744	△3,447	△195,579	68,717

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△195,579千円には、セグメント間取引消去44,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。